

一般社団法人 岩の力学連合会  
2019年度 第1回常任理事会 議事録

日時	2019年8月7日 14:00~17:00	場所	乃木坂ビル 4F (資源・素材学会会議室)
----	-----------------------	----	-----------------------

常任 理事会	理事	伊藤高敏	○	理事	西山竜朗	○	理事	芥川真一	×
	理事	坂口清敏	○	理事	藤井幸泰	○	理事	西山 哲	×
	理事	佐藤 晃	○	理事	森岡宏之	○	理事	岡田哲実	○
	理事	林 為人	○	理事	安原英明	<b>S</b>	理事	横尾 敦	○
	理事	下田直之	○						
	ISRM 役員	清水則一	<b>S</b>	ILC 委員会	京谷 孝史	×	賛助会員 特別会議	奥野 哲夫	○
	オブザーバ ー	尾留川 剛	×						

敬称略順不同, ○:出席, **S**:スカイプ参加, ×:欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 2019 常任 01-01	2019 年度・第 1 回理事会 議事録 (案) (190514 開催分)
資料 2019 常任 01-02	臨時理事会議事録
資料 2019 常任 01-03	定時社員総会議事録
資料 2019 常任 01-04	個人、賛助会員数報告
資料 2019 常任 01-05	岩の力学連合会定款
資料 2019 常任 01-06	理事会・総会アクション
資料 2019 常任 01-07	理事会, 常任理事会および三役会議運営規則
資料 2019 常任 01-08	将来構想 2016
資料 2019 常任 01-09	常任理事以外の理事の役割分担について
資料 2019 常任 01-10	編集委員会 2019 活動方針・予定
資料 2019 常任 01-11	2019 年度活動計画 国際技術委員会
資料 2019 常任 01-12	—
資料 2019 常任 01-13	RockNet 委員会の本年度の活動方針・予定
資料 2019 常任 01-14	—
資料 2019 常任 01-15	代議員選挙に向けてのスケジュール
資料 2019 常任 01-16	ILC 委員会報告
資料 2019 常任 01-17	賛助会員特別会議 運営企画特別委員会名簿
資料 2019 常任 01-18	YSRM①_第 15 回コア幹事会議事メモ(案)
資料 2019 常任 01-19	YSRM②_YSRM 予算書_7.1.2019
資料 2019 常任 01-20	YSRM③_業務委託契約書_YSRM2019
資料 2019 常任 01-21	火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ(企画書)
資料 2019 常任 01-22	ISRM Specialized Conference 申請書類
資料 2019 常任 01-23	トンネル工学研究会協賛依頼

0. 自己紹介

開会に先立ち、メンバーの紹介が行われた。

1. JSRM/JSEG 共催 国際火山 Workshop について（資料 2019 常任 01-21, 資料 2019 常任 01-22）

幹事長の山口大学・太田先生より火山ワークショップの開催の趣旨について資料の通り説明があった。開催は 2021 年 9 月 9 日～11 日に福岡大学で開催するなど開催概要や、テーマとして防災・減災や資源エネルギーなど 5 つの会議のテーマ、開催までの大まかなスケジュールなどについて説明があった。また、連合会としては ISRM の Specialized Conference として申請することが確認された。予算の件については、今後も日本応用地質学会と連合会とで協議していくこととした。応用地質学会としても国際学会母体 IAEG にも Specialized Conference としての申請を予定している。

火山理学系（Volcanic Science）の研究者を取り込むため、そのようなセッションも入れた方が良いという提案があった。また、建設会社当の民間企業の意見、状況を取り込むために実行委員会のメンバーへ入っていただくことの検討をワークショップ実行委員会に提案した。

2. 2019 年度・第 1 回理事会 議事録の承認（資料 2019 常任 01-01）

議事録案通り承認された

3. 臨時理事会議事録の承認（資料 2019 常任 01-02）

議事録案通り承認された。

4. 定時社員総会（5/31 開催）議事録の確認（資料 2019 常任 01-03）

議事録案通り承認された。

5. 個人、賛助会員数報告（資料 2019 常任 01-04）

会員数の報告がなされた。なお、次の理事会では、退会者・会費未払いによる退会処分となる方のリストを提示した上で、これらの方々の本連合会への慰留をお願いすることを確認した。

6. 岩の力学連合会定款の確認（資料 2019 常任 01-05）

先の社員総会で議決された内容を含め、定款の内容を確認した。その際、確認ウェブ上に公開されている定款、規則等の情報が古いものがあるので、最新の情報に更新する必要があることが確認された。また、定款の一部に個人情報が含まれることから、当該部分を伏せたものをウェブ上で公開することとした。

7. 理事会・常任理事会の役割について確認（資料 2019 常任 01-06）

資料の通り内容が確認された。

8. 2019 年度活動方針

1) 理事会、常任理事会および三役会議運営規則の確認（資料 2019 常任 01-07）

理事会、常任理事会および三役会議運営規則が確認され、特に、理事会および常任理事会の開催スケジュールについて確認した。また、開催頻度が多いことから、今後は理事会の集約を検討していくこととした。

2) 将来構想（2016）に向けて（資料 2019 常任 01-08）

「将来構想（2016）」の内容確認を行った。また、この将来構想案に基づき本連合会の運営を行

っていくことが確認された。

3) 常任理事以外の各理事の役割について (資料 2019 常任 01-09)

これまで常設委員会の担当を理事に割り当てていたが、2019年5月14日に開催された理事会において、この制度を見直し、任務に応じた柔軟な理事の役割分担を行っていくことが確認された。これを受け、今後、連合会の活動が予定されている以下の内容について担当理事としての役割を依頼することとした。

(1) 岩盤工学基礎講座の企画・運営：木崎理事，砂金理事（後日打診）

ただし、2019年度開催分については、開催時期の問題から三役会議で決定することとした。

(2) 賛助会員，一般会員の加入増に向けた取り組み：土屋理事，上田理事（後日打診）

(3) 岩の力学国内シンポジウム（2021年1月開催予定）：林理事（決定済み）

4) 賛助会員特別会議・運営企画特別委員会委員長の選出と同委員会担当理事の選出

同委員会の委員長として奥野哲夫氏（清水建設）が選出された。また、同委員会担当理事として同委員会メンバーでありかつ常任理事である横尾理事が担当することとした。さらに、現状では本会議・委員会は連合会の常設委員会ではないが、今後、連合会内での位置づけについて議論していくこととした。

5) ILC 研究企画特別委員会委員長の確認と、同委員会担当理事の選出

同委員会の委員長として京谷孝史氏（東北大学）が選出されたことが報告された。また、同委員会担当理事として同委員会メンバーでありかつ常任理事である横尾理事が担当することとした。

9. 2019年度活動方針・計画および報告事項

1) 編集委員会（西山（竜）：資料 2019 常任 01-10）

資料の通り、2019年度活動方針・計画が報告された。また、同委員会の構成メンバーについても承認された。

2) 国際技術委員（安原：資料 2019 常任 01-11）

資料の通り、2019年度活動方針・計画が報告された。また、同委員会の構成メンバーについても承認された。

3) 電子ジャーナル委員会（西山（哲）：資料 2019 常任 01-12）

同委員会の構成メンバーが承認された。ただし、本常任理事会では委員長が欠席であったため、後日、活動計画等について確認を取ることにした。

4) Rock Net 委員会（藤井：資料 2019 常任 01-13）

資料の通り、2019年度活動方針・計画が報告された。また、同委員会の構成メンバーについても承認された。

その他、現在 RockNet JAPAN で使用しているサーバー上に理事会専用のアーカイブ領域を設定が可能かどうかの確認の依頼があった。また、「岩の力学ニュース」配信のプラットフォームとして活用できないか確認があった。技術的には、パスワードを設定し連合会会員限定で過去の「岩の力学ニュース」を閲覧は可能であるが、より高度な設定が可能な J-Stage の利用なども提案された。いずれの方法かにおいて、本年度中に「岩の力学ニュース」の閲覧が可能なるよう検

討することとした。

5) 連合会賞選考委員会（坂口）

本委員会の委員の選出作業が進行中であることが報告された。

6) 選挙管理委員会（下田：資料 2019 常任 01-15）

資料の通り、2020 年度末に実施予定の次期代議員選挙に向けての活動計画が報告された。

7) ILC 研究企画特別委員会（横尾：資料 2019 常任 01-16）

資料の通り、2019 年度活動方針・計画が報告された。同委員会の構成メンバーについても承認された。また、ILC を取り巻く現状についても報告された。9 月に発表される学術会議マスタープランでどのように取り上げられるか如何で本委員会の活動計画の見直しが必要であることが示された。さらに、他学会の同様の委員会とも連携が必要であることが確認された。

8) 賛助会委員特別会議・運営企画特別委員会（奥野：資料 2019 常任 01-17 および別紙資料）

資料の通り、2018 年度活動の概要が報告され、本年度も同様の活動を実施していくことが示された。同委員会の構成メンバーについても承認された。また、本連合会が昨年度に主催した岩盤工学基礎講座が賛助会員の間で大変好評であったことが報告された。

10. YSRM 準備状況（安原：資料 2019 常任 01-18～20）

資料の通り、YSRM の準備状況、収支見積もりなどが示され、順調に準備作業が進んでいることが報告された。

11. 土木学会岩盤力学に関するシンポジウム（特別講演）について

例年、土木学会岩盤力学に関するシンポジウムでは連合会主催のセッションが開催され、これまでは毎回 2 件の特別講演が行われた。本年度についても同様に 2 件の特別講演を実施することとした。また、他の 1 件については土木分野以外の話題、例えば資源・探査分野からの話題も検討してはどうかとの意見があった。その候補として超臨界地熱開発が挙げられた。9 月末の締め切りに向けて三役会議で検討することになった。

12. その他

1) 会員向け岩盤工学基礎講座の開講について

本年度も実施することが確認された。先に 8. 3) で示したとおり、本年度からは同講座の企画・運営担当理事を新たに任命し、内容やスケジュールなど検討してもらうこととした。ただし、2019 年度開催分については、開催時期の問題から三役会議で決定することとした。

13. トンネル工学研究会協賛依頼（横尾：資料 2019 常任 01-23）

資料の通り、協賛を認めることが了承された。

14. その他

1) 本年 5 月に開催された国際会議 ”2019 Rock Dynamics Summit in Okinawa” の収支決算書について

て、監査の後、理事会で承認を得る必要があることが確認された。幹事長が実行委員会と連絡を取り作業を進めることとした。

2) 今後の予定

次回理事会：10月25日（金）14:00- 於、乃木坂ビル4F会議室

以上